

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2016.9.5 No. 269 連絡先 042-555-1911



MV-22オスプレイ 横田基地に26日から4日連続 通告なく離着陸

8月25日(木)厚木基地にMV-22オスプレイが14時14分に2機(EP09、EP11)、14時27分に2機(EP00、EP03)着陸しました。翌日の26日から4日連続、無通告で横田基地で離着陸しました。右表は、横田基地でのオスプレイの着陸・離陸等の状況です。離着陸は計14回でした。(着陸1回、離陸1回と数えています。)



今年は24回となりました。初飛来からは122回になります。

26日(金)	15時31分、1機(09)ローパス
	16時29分、1機(09)着陸、
	17時28分、1機(09)離陸
27日(土)	*14時17分、1機(00)着陸
	(*住民 *14時21分、1機(09)着陸
	目視時間) *14時33分、1機(11)着陸
28日(日)	11時22分、2機(00、09)離陸
	11時34分 2機(00、09)着陸
	11時53分、1機(00)離陸
	14時20分、1機(00)着陸
29日(月)	11時59分、1機(09)離陸
	12時01分、1機(11)離陸
	13時01分、1機(00)離陸

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長が 関東防衛局に要請

26日、1機のMV-22オスプレイが横田基地に午後4時29分に着陸し、午後5時28分に離陸したことは、北関東防衛局から自治体に情報提供がありました。事前には飛来するという情報はありませんでした。27日に3機のオスプレイが横田基地に飛来した時も事前の情報はなく、防衛省職員が目視することができず、時間不明の情報提供でした。上の表の時刻は、昭島市の住民が目撃した時間をもとに表記しています。結局、その後も、事前の情報提供はありません。

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町は8月29日、北関東防衛局に対し、○オスプレイの飛来のほか、関係する情報について、事前かつ早期に提供すること。○今回のオスプレイ飛来に関する経緯及び一連の経過について、本連絡会構成市町に提供すること。を要請しました。

厚木基地に飛来したMV-22オスプレイ(EP03)が故障 故障が相次ぐ

8月25日、4機のオスプレイが厚木基地に飛来し、3機は横田基地にも飛来。8月29日に厚木基地から岩国基地へと離陸しましたが、1機のオスプレイ(EP03)が故障で動きません。

29日16時19分、岩国からオスプレイ(EP10)が厚木基地に着陸、修理するための部品と5～6名の兵士を輸送してきた模様。このオスプレイ(EP10)は、8月30日12時過ぎ離陸しました。

しかし、故障したオスプレイ(EP03)は、修理をしているようですが、離陸できません。

故障は今回だけでなく、5月3日、厚木基地に飛来した4機のうち1機が5月4日に離陸できず、7月19日、厚木基地に飛来した6機のうち1機が7月20日に離陸できませんでした。

航空自衛隊横田基地 隊員年々増加し 2016年3月末で940人 (No.269 裏面)

所在部隊定員推移

部隊等名		24年度末	25年度末	26年度末	27年度末
航空 総 隊 隷	航空総隊司令部	250	270	260	260
	航空戦術教導団司令部			60	60
	防空指揮群	380			
	作戦システム運用隊		380	390	390
	作戦情報隊	120	120	150	190
	横田気象隊	20	20	20	20
	横田地方警務隊	10	10	10	10
				10	10
	所在部隊合計	780	800	900	940

作戦情報隊2014.9.22時点120+春日基地30+2015年度予算40)

航空自衛隊横田基地が新設された2012年3月26日には、自衛隊員は760人でした。年々増えて、2016年3月末には940人です。

(左表は『福生市と横田基地』より)

7月13日の『週刊ウイング』(航空新聞社)に、航空総隊司令官・福江弘明空将のインタビュー記事が

載っています。福江氏は「航空総隊は約2万7000名、航空自衛隊の55%を占める非常に大きな組織です。」と語っています。また「弾道ミサイル防衛(BMD)統合部隊指揮官として、イーゼス艦を指揮することから海上自衛隊の護衛艦隊との情報共有及び各関係部署との緊密な連携と協力を努めるとともに、イーゼス艦の行動、状況を状況を常に把握しています。」と語っています。航空総隊は航空自衛隊の戦闘機部隊及び高射部隊などを一元的に指揮・統括しています。

横田配備のC-130H輸送機(14機)が 最新のC-130jに交替 今年11月から

8月25日に防衛省(北関東防衛局)から、横田配備のC-130輸送機(14機)が、2016年11月から2018年3月までに、最新のC-130jに交替する予定であると、情報提供がありました。

横田基地におけるC-130HとC-130Jの比較について		
機種	C-130J (新)	C-130H (旧)
乗員/兵員	3名/128名(空挺92名)	5名/92名(空挺64名)
全長	34.69 m	29.3 m
全幅	39.7 m	39.7 m
全高	11.9 m	11.9m
プロペラ数	6枚	4枚
最大速度	約660 km/h	約589 km/h
行動半径 (最大積載時)	約3,147 km	約1,944 km

海軍用オスプレイ日本配備



2021年～26年にC-2輸送機と交代

米海軍の報道担当者は8月29日、海軍用のCMV22オスプレイを日本に配備することを明らかにしました。配備時期は2021年～26年になるようです。第7艦隊の原子力空母ロナルド・レーガンの艦載機として運用されている現行の輸送機C-2グレイハンド2機と交代します。配備先は岩国。

海兵隊のMV-22オスプレイは普天間基地で既に24機が運用されており、空軍のCV-22オスプレイは2017年から10機を横田基地に配備する予定で、海軍用はこれらに次ぐ配備計画です。自衛隊も17機のオスプレイを購入することにしています。

これはひどい！2017年度予算概算要求 軍事研究助成 6億→110億円

軍事研究助成は、軍事に応用可能な基礎研究費を、企業や大学に助成するものです。研究は人類の平和のためにすべきです。

機 種		
乗員／兵員	3名／128名(空挺92名)	5名／92名(空挺64名)
全 長	34.69m	29.3m
全 幅	39.7m	39.7m
全 高	11.9m	11.9m
発 動 機 (プロペラ数)	AE2100D3×4基(ロールスロイス社製) (6枚)	T56-A-15×4基(アリソン社製) (4枚)
最大速度	約650km/h	約589km/h
行動半径 (最大積載時)	約3,147km	約1,944km

出典: 米空軍HP